

とよつだより

第 2 7 号

平成24年11月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

第七回とよつふれあい運動会

大空の下未来へ羽ばたけ豊津の子

十月六日、雨を心配しながらも「第七回とよつふれあい運動会」が無事、盛大に開かれました。昨年に引き続き、午前は児童達の運動会、午後は地域の運動会として、未就学児から高齢者まで、ワイワイ楽しく展開されました。また、来年度の新入生も八名が参加してくれ一緒に楽しんでくれました。

最大の関心事の区対抗ですが、四つの対抗種目中、「区対抗リレー」を除く三種目で優勝した新田区が、うれしい、うれしい（ふれあい運動会での）初優勝を飾りました。

【優勝区コメント】

大川誠二 新田副区長

今回、地区対抗において、我が新田チームは初優勝をすることができました。近年の成績からして優勝など考えもしませんでした。皆協力し、精一杯頑張った結果だと思っています。過去、あと一步のところまで優勝を逃した悔しい思いがあり、今回の優勝には特別の思いを持って、皆で喜びを分かち合いました。

全体を通して感じたことは、午後の部において、地域の自由種目にほとんど全ての生徒が違和感なく積極的に参加し、楽しんでいる姿が過去の六回より鮮明に感じられ、ふれあい運動会が年々充実し、定着しつつあることを実感した一日でした。



とよつキッズ 活動紹介

とよつキッズも八回の計画をたて余すところ最後の十一月の手作り豆腐づくりのみとなりました。これまで大人の皆さんの沢山の応援をいただきありがとうございます。

七月二十八日、健康教室と三世代交流食事を実施。今回は、市役所の保健師さんから健康講話（生活習慣病予防のための食生活ポイント等）を受けた後、DVDを見ながらステップ体操を行いました。

このステップ体操から子ども達も加わり体操の後は、子ども達が作り、そして配膳したカレーライスを仲良く一緒に食べました。



事業月日	事業名	子ども	大人	合計
5月19日	豊津ハイキング	8	14	22
5月26日	リトルファーム種まき苗植え	18	17	35
6月23日	ホテル見学会	49	43	92
7月28日	健康教室&三世代交流食事会	6	44	50
8月4日～5日	体験学習	26	27	53
8月19日	石鯛づくり&ピザづくり	5	17	22
9月9日	おもしろ理科先生	8	14	22

続きました! 第三十回

北浦一周 サイクリング

今回が記念すべき三十回目となる「北浦一周サイクリング」(豊津スポーツ父母の会・豊津地区まちづくり委員会の共催事業)は、震災の影響から昨年に引き続き九月に行われました。

た。北浦一周をやり遂げた子どもたちは、皆満足げでした。

六年間完走者は三名で、賞状とクリスタルの盾が、またこの間のサイクリングへの貢献に対し、箕輪礼子さんと山町重信さんへ感謝状と盾が贈られました。

北浦浄化を訴え続けてきたこの事業、昔のようにきれいな北浦になるまで、今後四十回も五十回も続く事を願い、第三十回目の北浦一周サイクリングを閉じました。

皆さん、お疲れ様でした。

【六年間完走者の感想】

○君和田武くん

「完走できてうれしかったです。」

○浅間美穂さん

「疲れたけど完走できて良かったです。」

○大内碧海さん

「六年間続けてきて良かったです。」



【箕輪礼子さんの話】

「命の水・北浦を守りたい」

昭和五十八年十月十日。延方スポーツ少年団と合同で第一回の北浦一周サイクリングを行いました。以後一度も中止することなく第三十回を迎えることができました。感謝です。」

【第一回に参加した郡司典子さんの話】

「第一回サイクリングに参加した私の小学生時代、まだ子供達が自転車乗り回すのは豊津近辺だった頃、北浦一周は胸をドキドキさせる大イベントでした。」

この素晴らしい大イベントが、これからも深く皆の心に歴史を刻んでいくことを願っています。」

今年も楽しく敬老会を開催

九月十六日、「平成二十四年度豊津地区敬老会」が新仲家で開かれ、一二四名の方が参加されました。(対象者は、七十二歳以上の方、二八八名)

式典では、米寿の三名、喜寿の十二名に褒状が渡され、その後は、小学生の作文発表や踊り・カラオケの披露を見ながら、楽しい時間を過ごされました。皆さん、ご長寿おめでとうございます。



AED講習を実施

豊津まちづくりセンターにもあるAED。



聞いたことのあるけど使いたことのない人が多いはず。そのようなことから、九月十九日、鹿嶋消防署で講習を行いました。

△参加者の声▽

講習があると聞き、気軽に参加。AEDを目にする事は多く、音声誘導指示で容易に操作できると信じていたが、何もできない情けなさ心がよぎる。受講前に、AEDが必要な場に遭遇しなかった事に安堵。受講後は、仲間とテキストで復習し、何時でも人様のお役に立てるように努力せねばと思った。(ブルース・ハーモニカ・クラブ 山形勝美)

爪木地区で避難道を整備しました

十月十三日、爪木地区で避難訓練の準備として原向き坂(土地改良事務所前から浄水場へ向かう坂)の環境整備を行いました。



東日本大震災後、各地で避難訓練等が行われていますが、ここ豊津地区でも、昨年度、小学校体育館への参集訓練と消防署職員からの講話を受けました。今年度は、地区ごとに台地部への避難訓練を予定しており、その第一弾として、爪木地区で十一月十八日に実施します。既に「そよかぜ(特別号)」で案内していますので、多くの方々の参加をお願いします。※大船津、新田地区も、年明けに実施する予定です。

とよつかるためぐり シリーズ⑬



ふ 普渡寺に座わす 宝物の船越地蔵

鎌倉時代の建長四年(一二四九)、忍性良観上人が鹿島の大神の神託を受け、神木の南枝を切り取り、仏像を彫って海上交通安全を祈願し、普渡寺が創建されたといわれています。

普渡寺は、「ふつと」という言葉に連想されるように、渡し場の寺、港の寺として広く庶民の間に信仰されましたが、現在は無住寺(住職のいないお寺)となっています。忍性上人と関係がある「船越地蔵」は所在不明ですが、江戸時代中期の地蔵尊を安置しています。また、本尊である木造十一面観音立像は、平成二十二年一月に市指定文化財に指定されています。

普渡寺は、現在、大船津公会堂として、老人会や町内の集会のほか、子ども達向けのそろばん塾の会場としても広く利用されています。



へ広報委員のつぶやき♪

「避難とは、難を避けることで、必ずしも避難所へ行くことではない」、「とつさの判断はとつさにできない」、「いざという時に、何もかも役所が面倒見てくれると考えているのは、日本人だけ」等々、講師の発言にうなずいたり、苦笑いしたり。六十人を超える方々が参加した十月二十七日の『豊津地区防災講座』で的一幕。自助(自分で守る)、共助(協力して助け合う)、公助(行政等の助けを受ける)という言葉もありますが、「自分の身は自分で守る」が基本。そのために、準備をしておくことが必要とあらためて学びました。